

7/16 広川町で災害ボランティアとして 泥掻きなどを行いました。

災害ボランティアで被災者からのニーズが多いのは床下の泥の掻き出しや災害ゴミの運び出しと運搬です。私の場合、事前にネットから申し込む際に軽トラックを提供可能な欄にチェックをしておいたので、愛車ゾフィー号で広川町災害ボランティアセンター（広川町はなやぎの里）へ向かいました。

大まかな流れは以下の通り。
7:30〜宗像発
8:40〜広川町着
9:00〜受付、オリエンテーション
社協スタッフの方が懇切丁寧に受け付けをしてくださいだったので、とても安心できました。

はなやぎの里ロビーにおよそ60人ほどのボランティアの方々が集まりました。男女半々くらいでした。7つの班に分かれて、ボランティアを行います。
我々の班は学生さんや近隣の自治体に所属する社協職員さん、ガチボランティア勢、初めての方などバラ

エディー豊かで個人的な方々でした。連休中に連続で広川町の災害ボランティアをされている方がリーダーとなっていて、目配りこまめな休憩など、我々の班をまとめてくださいました。それぞれの作業班にスポットドリンクなどの入ったクーラーが提供されたので、熱中症対策の意味で助かりました。（自分でもクーラーバックで持ち込んではいませんが）

ゾフィー号にバケツ、ホウキ、土嚢袋、スコップ、雑巾などのお宅の作業内容に沿った資材物資を積み込んで移動。
10:00〜作業開始
前日、別の班が作業した続きの作業を行います。15〜20分おきに休憩水分補給のペースでしたので、そこまで疲れた感はありません。

12:00〜昼食（コンビニで買った弁当）
班の皆さんと色々なお話をすることができました。因みに、昨日まで3日連続でボランティアをされた方から、宗像市から参加した

人がいたことなどを聞いて嬉しくなりました。それ以外にも、災害ボランティアについて参考になるお話も伺うことができました。
13:00〜作業開始
水没して使えなくなった貴、家具、家電などをゾフィー号に載せ、災害廃棄物として車で5分ほどの受け入れ施設（運動公園のグラウンド）へ運び込み。日曜日ということもあり若干混雑する場面もありましたが、係員（おそらく地元の廃棄物関係者や他自治体関係者かと）が丁寧に誘導してくださりました。

14:50〜撤収
15:00〜はなやぎの里ロビーにて解散、
広川町発



仲良くなった近隣自治体の社協職員さんとは、今後も情報共有したいなと思います。
16:20〜宗像到着
今回は急な予定変更で日曜日だけしか参加することができませんでしたが、私にもできる作業なので、参考にさせていただいて一人でも多くの方にボランティアに参加してもらえると幸いです。
※この広川町の経験を参考に、災害ボランティアの事前登録制度の導入を宗像市に再提案しました。
被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

第11回赤間駅前カムカム祭りが4年ぶりに開催されました！



私は今年もステージ部長としてステージイベントのとりまとめをさせていただきました。
子どもたちや市民団体の皆さまによるダンス舞踊や消防団の太鼓演技に多くの観覧車から大きな拍手が贈られていました。晴れて本当に良かったです！
そして、今年からゴミ削減の取り組みが始まりました！
ゴミの回収の時にかさばったり、手に刺さったりして危険な割り箸と串だけを会場内の青い専用のボックスで回収しました。（と言っても会場内の二ヶ所で試験的にですが）
ゴミをゴミ箱に入れてくれたお客さん1000〜2000人に「ありがとうございます！」とお礼を言いました。何度も捨てて来てくれた少年ありがとう◎
不覚にも指に刺さってしまい私が悪い見本となりました。少しでも環境について考える機会づくりにつながれば幸いです。
来年もよりよい開催になるように私も頑張りたいと思います。

影日向となって支えて下さいました関係者の皆様にも心より感謝します。

9/21 本日9月議会が開会しました。決算の議決に際しては、会派の意見を取りまとめ賛成の立場で討論しました。以下ポイントです。

- 審議過程で「繰り越し金」がおよそ20億円とのことであつたので、速やかに以下の政策にその一部を投資するように要望しました。
- (1)公共交通の維持と新たなモビリティ調査研究のための投資
- (2)コミュニティ事業の見直し自治会再生のための投資
- (3)防災基金の創設
- (4)行政、市内事業者の人材確保のための投資
- (5)生産年齢人口の定住促進のための投資
- (6)子ども子育てのための投資



で、子どもたちの元気な笑顔、食育、地産地消の推進、農家の収入安定、域内農業の再生化、自給率の向上、農産品の高付加価値化、農福連携サイクルの確立につながる「こと」等、「むなかたらしさ」を生かせる「むなかたならでは」の政策を生み出すことができるように、調査研究費に投資することを要望しました。

これらに投資をすることで、本市の課題を解決することとあわせて、付加価値の向上につなげ、さらなる税収増加や、経済の活性化など、さらなる好循環を呼び込むことにもつなげるような視点を持って欲しいと願い、次年度予算案の検討にあたっていただくように前向きに強く要望をいたしました！
是非令和6年度予算に反映を！！

安部よしひでの最新情報を発信しています。
LINE QR code
YouTube QR code



不定期で早朝に釣川桜づつみ公園遊歩道を小一時間程、パトロール&ゴミ拾い&ウォーキングを行っています。
行き交う人との挨拶交換も、往復して再びすれ違う時には相手方より挨拶をかけられて、とても嬉しい気持ちになります。たまに、ゴミ拾いボランティア仲間と遭遇するとテンションも上がります。
やはり、一人より二人、二人より三人で気持ち共有することって大切だなと思います。
ゴミを拾ってくれる人を増やすことは非常に大切なことだと改めて実感しています。

あべよしひで 安部 芳英

1970年宗像に生まれ、宗像で育つ。
学歴：赤間小学校 → 城山中学校 → 香椎工業高(情報科) → 福岡建設専門学校

- 宗像市議会議員
- 宗像大社氏子青年会 監事
 - 遠賀・宗像食品衛生協会相談役
 - （公社）福岡県建築士会防災部会副会長
 - 宗像地域会副代表
 - 婚活まちづくり団体ゆめみらいNIPPON代表
 - 青少年育成活動 宗像少年の翼会長
 - 田久公民館館長
 - 田久わんぱくアンビシャス広場代表
 - 宗像市立城山中学校PTA会長
 - アドベンチャーMUNAKATA 顧問



議会毎に赤間駅等でアベマガを配布してます。お気軽にお声掛けください。

アベマガは3000~5000枚ポストインしています。設置して下さるお店募集中です。

